



涙と共に種を蒔く人は喜びの歌と共に刈り入れる。(詩編126編5節)

Those who sow with tears will reap with songs of joy. (Psalm 126:5)



愛の掟

イエスは言われた。「『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』これが最も重要な第一の掟である。第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』」



—マタイによる福音書22章37～39節—

九州学院チャプレン 日笠山 吉之

熊本で初めての夏を過ごしたからでしょうか。最近「焼けだね」とよく言われます。もともとの地黒により一層拍車がかかったようで、久しぶりにあった知人は私を見るなり「まるで西郷どんだね」。鹿児島生まれなので、顔立ちはかの偉人に似ているようです。最近腹回りまで西郷どん並みになってきたようで…気を付けなくては！と思っています。

九州学院の校訓となっている「敬天愛人」は、西郷隆盛も好んだ言葉です。ただしこの言葉に対する西郷の理解と、九学の創始者である遠山参良先生との理解には違いもあったようです。「天」を西郷はあくまで儒教的な意味で捉えていましたが、キリスト者だった遠山先生は「親心の一大人格者たる天父」(『九州学院百年史』236頁)と考えておられました。そして、この「敬天愛人」の根拠をキリストが語られた冒頭の言葉に置かれたのです。

現在の本学院の生徒たちもこの「敬天愛人」の意味をよく理解しています。私が担当している高校3年生の聖書の試験でこの言葉の意味を問うたところ、生徒たちは実に正しくしっかりと答えを書いてくれました。神を愛し、人を愛する。九州学院は今も昔も、神の愛に促されて、愛の教育を行う学校なのです。

九州学院体育祭 4年ぶり通常開催!!

～中高合同・有観客で盛大に行われる～



9月9日(土)、九州学院グラウンドで「九州学院体育祭2023」が盛大に開催されました。昨年度は3年ぶりに体育祭を催しましたが、中高別で行い、日程・午前中での開催であったことから、中高生が一緒に午前・午後に参加する通常方式で開催しました。会場は終始昨年度を超える盛況でした。

体育祭の企画と準備は生徒会役員と実行委員会の生徒たちが何度も議論と試行錯誤を重ねて進められました。実行委員会では決定した今回の体育祭のテーマは「気炎万丈」で、燃え上がる炎のように非常に意気盛んであることを表す言葉です。その言葉どおり、競技に出場する生徒も応援する生徒も皆、中止や制約が多かったこの4年間を取り返すかの如くに集中していました。開会式では横溝正哉「選手宣誓を声高らかに行いました。各競技が

の開催は2019年以来4年ぶりとなり、また、今回は保護者の入場制限も完全撤廃したことも加わって、会場は終始昨年度を超える盛況でした。体育祭の企画と準備は生徒会役員と実行委員会の生徒たちが何度も議論と試行錯誤を重ねて進められました。実行委員会では決定した今回の体育祭のテーマは「気炎万丈」で、燃え上がる炎のように非常に意気盛んであることを表す言葉です。その言葉どおり、競技に出場する生徒も応援する生徒も皆、中止や制約が多かったこの4年間を取り返すかの如くに集中していました。開会式では横溝正哉「選手宣誓を声高らかに行いました。各競技が

今年も多くの中高生が夏季開催の全国大会に出場して、それぞれ活躍、健闘しました。特に剣道部は、高校が男子団体戦で二冠を達成し、中学校は男子個人戦を制する、見事な活躍がありました。7月27日(木)・29日(土)に福岡市の照葉積水ハルスアリーナで行われた「令和5年度玉竜旗高校剣道大会」男子団体戦で、高校剣道部が前回大会に続く2連覇を達成するとともに、通算優勝回数も11回に更新しました。6回戦から決勝までは全国大会優勝経験のある屈指の強豪との対戦が続き、4試合中3試合が大將どうしの戦いとなる接戦でしたが、いずれも石田健真選手(3年)が勝負を決めて

今年も多くの中高生が夏季開催の全国大会に出場して、それぞれ活躍、健闘しました。特に剣道部は、高校が男子団体戦で二冠を達成し、中学校は男子個人戦を制する、見事な活躍がありました。7月27日(木)・29日(土)に福岡市の照葉積水ハルスアリーナで行われた「令和5年度玉竜旗高校剣道大会」男子団体戦で、高校剣道部が前回大会に続く2連覇を達成するとともに、通算優勝回数も11回に更新しました。6回戦から決勝までは全国大会優勝経験のある屈指の強豪との対戦が続き、4試合中3試合が大將どうしの戦いとなる接戦でしたが、いずれも石田健真選手(3年)が勝負を決めて

全国優勝

- 玉竜旗高校剣道大会(男子団体戦)
- 全国高校総体剣道競技(男子団体戦)
- 全国中学校剣道大会(男子個人戦)
- 石橋智紀選手(3年)



8月20日(日)、松山市の愛媛県武道館で行われた「令和5年度全国中学校体育大会剣道競技」男子個人戦で、中学校剣道部の石橋智紀選手(3年)が初優勝しました。2回戦から登場した石橋選手は、決勝までの6試合のうち実に4試合が延長戦という熾烈な戦いが続きましたが、全試合で自身が得意とする面を落ち着いて決めました。剣道以外の競技でも

8月20日(日)、松山市の愛媛県武道館で行われた「令和5年度全国中学校体育大会剣道競技」男子個人戦で、中学校剣道部の石橋智紀選手(3年)が初優勝しました。2回戦から登場した石橋選手は、決勝までの6試合のうち実に4試合が延長戦という熾烈な戦いが続きましたが、全試合で自身が得意とする面を落ち着いて決めました。剣道以外の競技でも

8月20日(日)、松山市の愛媛県武道館で行われた「令和5年度全国中学校体育大会剣道競技」男子個人戦で、中学校剣道部の石橋智紀選手(3年)が初優勝しました。2回戦から登場した石橋選手は、決勝までの6試合のうち実に4試合が延長戦という熾烈な戦いが続きましたが、全試合で自身が得意とする面を落ち着いて決めました。剣道以外の競技でも

8月20日(日)、松山市の愛媛県武道館で行われた「令和5年度全国中学校体育大会剣道競技」男子個人戦で、中学校剣道部の石橋智紀選手(3年)が初優勝しました。2回戦から登場した石橋選手は、決勝までの6試合のうち実に4試合が延長戦という熾烈な戦いが続きましたが、全試合で自身が得意とする面を落ち着いて決めました。剣道以外の競技でも

8月20日(日)、松山市の愛媛県武道館で行われた「令和5年度全国中学校体育大会剣道競技」男子個人戦で、中学校剣道部の石橋智紀選手(3年)が初優勝しました。2回戦から登場した石橋選手は、決勝までの6試合のうち実に4試合が延長戦という熾烈な戦いが続きましたが、全試合で自身が得意とする面を落ち着いて決めました。剣道以外の競技でも

8月20日(日)、松山市の愛媛県武道館で行われた「令和5年度全国中学校体育大会剣道競技」男子個人戦で、中学校剣道部の石橋智紀選手(3年)が初優勝しました。2回戦から登場した石橋選手は、決勝までの6試合のうち実に4試合が延長戦という熾烈な戦いが続きましたが、全試合で自身が得意とする面を落ち着いて決めました。剣道以外の競技でも

常日頃から九州学院はその「温かいコミュニケーション」を大事にしていますが、今後ますます活気あふれる豊かな学院として、その一言を大切にできればと願っています。

「温かいコミュニケーション」というのは、ほんの一言でいいから、自分から積極的に語りかけることによって成立するものです。学校や家庭や職場で、「元氣ですか?」「調子はどうですか?」という言葉が行き交うと、そこに豊かなコミュニケーションが出現していきます。

このパンデミックがもたらした世界と人間に対する影響はかなり大きく、社会構造が変わるほど深刻なものです。社会の医療体制の整備が急がれるところですが、私たちの日々の暮らしの中で言えば、いかに日常の温かいコミュニケーションをとることが重要であるか、経済全体もそうですが私たちの日常生活も相互依存の関係にありますので、いかに互いに配慮することが大切であるかを改めて考えさせられたことも一つの大きな要素であろうと感じています。

このパンデミックがもたらした世界と人間に対する影響はかなり大きく、社会構造が変わるほど深刻なものです。社会の医療体制の整備が急がれるところですが、私たちの日々の暮らしの中で言えば、いかに日常の温かいコミュニケーションをとることが重要であるか、経済全体もそうですが私たちの日常生活も相互依存の関係にありますので、いかに互いに配慮することが大切であるかを改めて考えさせられたことも一つの大きな要素であろうと感じています。

このパンデミックがもたらした世界と人間に対する影響はかなり大きく、社会構造が変わるほど深刻なものです。社会の医療体制の整備が急がれるところですが、私たちの日々の暮らしの中で言えば、いかに日常の温かいコミュニケーションをとることが重要であるか、経済全体もそうですが私たちの日常生活も相互依存の関係にありますので、いかに互いに配慮することが大切であるかを改めて考えさせられたことも一つの大きな要素であろうと感じています。

このパンデミックがもたらした世界と人間に対する影響はかなり大きく、社会構造が変わるほど深刻なものです。社会の医療体制の整備が急がれるところですが、私たちの日々の暮らしの中で言えば、いかに日常の温かいコミュニケーションをとることが重要であるか、経済全体もそうですが私たちの日常生活も相互依存の関係にありますので、いかに互いに配慮することが大切であるかを改めて考えさせられたことも一つの大きな要素であろうと感じています。



院長室だより
院長 小副川 幸孝
2019年冬に中国の武漢から世界中に広がった新型コロナウイルス(Covid-19)の



夏休みに合同研修旅行団がオーストラリアを訪れる予定でしたが、

訪問期間中、生徒はホームステイを行い、それぞれのホストファミリーとのあたたかい交流を経験しました。

インマヌエルカレッジでは在學生と一緒に日本語、美術、オーストラリアンフットボールなどの授業を受講しました。いずれの授業も座学だけではなく、実技などを体験する機会が多くあり、生徒たちは積極的に挑戦していました。また、校外学習ではアデレード郊外のクリーランド野生動物公園を訪ねて、カンガルーやコアラの生態を学ぶ貴重な機会も与えられました。

インマヌエルカレッジの学生やスタッフの皆さまとホストファミリーに

は、滞在期間中私たちが歓迎してあたたく受け入れてくださったことに深く感謝いたします。滞在最終日には全ホストファミリーが集うお別れ会が催され、アデレード出発時の生徒の顔には多くの涙がありました。アデレードを発つた一行は3日間シドニーを訪れました。有名なオペラハウスやハーバーブリッジを見た生徒は興奮していました。また、シドニーでは5時間ほどグループごとに散策も行いました。オーストラリア滞在日数は短いものでしたが、生徒たちは永続的な繋がりを構築できたとして学生を迎える予定です。神さまが姉妹校間の関係をますます祝福されますように。

(引率教師 池田)

インマヌエルカレッジ訪問研修旅行が再開！

九州学院高校・ルーテル学院高校合同で姉妹校を訪問

九州学院高校の生徒14人とルーテル学院高校の生徒15人、両校の引率教師各1人で編成した研修旅行団が、南オーストラリア州アデレード市にある姉妹校インマヌエルカレッジを訪ねて交流と学習の機会を持ちました。

本来は2020年の夏休みに合同研修旅行団がオーストラリアを訪れる予定でしたが、

COVID19の世界的流行により直接的交流は中断を余儀なくされました。そのため今回の研修旅行団派遣は再開後初となりました。

また、本年は熊本とインマヌエルカレッジの学生交流40周年を祝う特別な年(姉妹校関係締結は1990年)でもあり、この年に研修旅行団を派遣できたことは感謝であります。

訪問期間中、生徒はホームステイを行い、それぞれのホストファミリーとのあたたかい交流を経験しました。

インマヌエルカレッジでは在學生と一緒に日本語、美術、オーストラリアンフットボールなどの授業を受講しました。いずれの授業も座学だけではなく、実技などを体験する機会が多くあり、生徒たちは積極的に挑戦していました。また、校外学習ではアデレード郊外のクリーランド野生動物公園を訪ねて、カンガルーやコアラの生態を学ぶ貴重な機会も与えられました。

インマヌエルカレッジの学生やスタッフの皆さまとホストファミリーに

充実した学校生活を支えるために

中高校長 室永 芳久



2023年度になり、新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症が初夏から夏にかけて流行するなどの影響を受けながらも、学校における教育活動は、以前の状態を取り戻してきております。まさしく過去の失われた学校生活を取り戻すかのように、生徒の皆さんも、学習活動、部活動、学校生活を生き生きと送っているように見えます。

春から夏にかけての高校総体・総文祭、中体連では、多くの生徒さんたちが活躍してくれました。また、それ以外での校外活動においても、様々な方面での活躍があります。詳しくは、九学通信や学院ホームページをご覧ください。いずれにしても、多方面、多岐にわたり、生徒さんが積極的に活動し活躍している姿を見られることは、うれしい限りです。

この8月に開催しました高校説明会にも1000名を超える中学生・保護者の方々にお越しいただき、九州学院のホスピタリティを十分に伝えることができたと思っております。一人ひとりの夢を大事にし育てることを教育活動の根幹に据えていることを見失わず、今後も日々の活動に取り組んで参りたいと考えております。



ア部案内や補助などが出演や運営に携わりました。また、クラス(プログラム)アドバンスト(アドバンス)説明会、生徒代表が、学校行事紹介を生徒会役員代表が行っており、現役生による実演や説明を通して、本校の雰囲気や魅力を伝えることができました。教職員の登壇では、学院の基盤であるキリスト教教育の説明と聖書朗読・祈禱を日笠山吉之チャプレンが、進路実績・クラス編成・英語検定・キャリア教育講座の説明を松本郁進路指導部長が、入試

ネブラスカ州立大学カーニー校を中高生が初訪問

オールイングリッシュでの学びと実践による研修に臨む

7月26日(水)〜8月4日(金)(現地時間)、アメリカ合衆国のネブラスカ州立大学カーニー校を九州学院高校・中学校の生徒10人と引率教師2人で編成した研修旅行団が訪れました。

2022年に同校と九州学院は協定を締結して、九州学院高校から同校への進学ならびに生徒訪問団の派遣とその受け入れについて

特別連携をとることを約束しており、今回の派遣はその初回として実施されたものです。

研修プログラムは多岐にわたり、概ね平日は教室で英語による授業を午前に行い、午後にはさまざまなアクティビティや表敬訪問などの現地留学と交流。

【7月27日(水)】オリエンテーションとキャンパスツアー。Butte County Fair(自由研究発表)見学。

【7月28日(木)】授業。日本・韓国・メキシコ・ベトナムなどの現地留学生と交流。

【7月29日(金)】担当の先生宅訪問。カヤック体験。交流会と絵画共同制作体験。

【7月30日(土)】現地教会で礼拝。ふれあい牧場。農場でとうもろこし収穫体験。

【7月31日(日)】授業。カーニー市長表敬訪問。市街散策。発表演習など。

【8月1日(火)】授業。3人の学部長との懇談会。公立高校訪問と学校見学。ボルダリング体験など。

【8月2日(水)】授業。プレゼンテーション(2人×5組)。商品コマース制作と発表(日本人留学生と一緒に)。異国交流。

【8月3日(木)】TOEFL受験。修了証書授与式など。

【8月4日(金)】オマハ動物園訪問。

学年が異なる生徒が同じ英語漬けの授業を受けましたが、研修後半では全員が積極的に発言や交流を行う様子が見られ、TOEFLの結果も含めて英語での表現力やコミュニケーション力が大きく向上したことに引率した私たちが驚きました。事前学習から研修までスタッフの皆様には公私にわたり大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。(引率教師 加納・松卜)



概要の説明を細野英彦入試対策部長がそれぞれ行い、校長挨拶として室永芳久中高校長が参加者に、歓迎の言葉などを送りました。

11月11日(土)には本校内において、2024年度九州学院高等学校入試説明会ならびに校内見学を開催します。既に実施済みの九州学院体育祭や11月3日(祝)に行われる九学祭一般公開などと併せて本校生徒たちの実際の様子をご覧ください。

1月に専願生・奨学生入試が、2月に一般生入試が行われます。4面に掲載しています。概要を参照願います。

高校説明会を県立劇場で開催

1000人超の参加者が集う

8月18日(金)13時より熊本県立劇場コンサートホールで九州学院高等学校説明会を開催しました。今回は4年ぶりに保護者の参加も可能とし、1000人を超える来場者(予約制)で会場は賑わいました。本校の学校説明会に

【8月4日(金)】オマハ動物園訪問。

学年が異なる生徒が同じ英語漬けの授業を受けましたが、研修後半では全員が積極的に発言や交流を行う様子が見られ、TOEFLの結果も含めて英語での表現力やコミュニケーション力が大きく向上したことに引率した私たちが驚きました。事前学習から研修までスタッフの皆様には公私にわたり大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。(引率教師 加納・松卜)



合同進学相談会を開催

6月23日(金)午後九州学院3号館ホールにおいて、進路指導部主催による合同進学相談会を開催しました。

今回は30を超える大学や短期大学、看護・医療系専門学校に参加(一部オンライン参加)いただき、概要説明や質疑応答などを丁寧に行っていました。

参加した高校3年生ならびに保護者は、それぞれの進路選択と最終決断に向けて、真剣なまなざしで担当者の説明に傾聴して、積極的に質問していました。



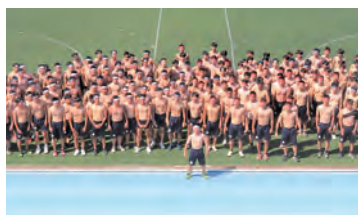
こども園児ダンス



高校1・2年女子ダンス



100m走(先生・生徒ともに力走)



高校3年男子棒倒し(感謝の挨拶)



クラブ対抗リレー(柔道部)



高校2年男子騎馬戦

☆九州学院体育祭(9月9日土)☆1面参照

NHK「らんまん」の牧野博士と九州学院の上妻先生との強い絆



元生物学教師上妻博之[まさゆき]先生(1879~1967年)は、九州学院の創立当時から1959年まで約半世紀にわたり教壇に立たれました。全国でも屈指の長い活動歴を誇る「熊本記念植物採集会」を発足させるなど熊本の植物研究に貢献された九学の名物先生でした。

その上妻先生が、NHKの連続テレビ小説「らんまん」のモデルとなっている「植物学の父」牧野富太郎博士(1862~1957年)と師弟関係であり、深い親交があったということで、先般、くまもと文学・歴史館(中央区)で「上妻博之と牧野富太郎」展が開催され、二人が交わした貴重なはがきや手紙、写真などが展示されました。牧野博士が来熊のたびに採集に同行、熊本滞在中は上妻先生のご自宅が定宿だったことからお二人の強い絆が伺えます。日本の植物の研究に大きな功績を遺した牧野博士は「牧野日本植物圖鑑[すかん]」をはじめ多く著作を発表していますが、その師の教えを受けた上妻先生も「熊本県内採取植物目録(増訂)」「天草郡植物採集便覧」等を世に出しています。熊本の植物学が全国でも高い評価を受けている由縁はお二人の子弟関係の賜物と言えるでしょう。



4年ぶりに学生会館で開催された東京九学会

この三年間は全世界的に人類が様々な影響を受けて来ましたが、九州学院同窓会でも本部や支部は元より、地域、職域、学年などの同窓会活動も自粛を余儀なくされました。しかしながら、今年の6月頃から徐々に各種の同窓会活動も3年、4年ぶりに再開され始めて来ようです。これからの同窓会活動が一日も早くコロナ禍前の状況に戻ることを期待したいものです。

九学同窓会だより

会常任幹事会を開き、来年4月19日(金)に2024九州学院大同窓会総会・懇親会を開催することが決定し、早速実行委員会(1・6の月頃から徐々に各種の同窓会活動も3年、4年ぶりに再開され始めて来ようです。これからの同窓会活動が一日も早くコロナ禍前の状況に戻ることを期待したいものです。

共学移行から32年 男女の比率が約半々に

女子部会「リディア会」Tea Partyを開催 昨年度正式に発足した九州学院同窓会の女子部会「リディア会」主催によるTea Party茶話会が、9月2日に母校の一号館会議室で開催され、ゲストの木戸征一郎先生・坂田孝先生を始め親子連れのOG等約30名が参加しました。

- 6月10日 茶北支部九学会
6月16日 阿蘇中部九学会
6月24日 関西九学会
7月1日 八代九学会
7月8日 東京九学会
7月8日 牛深九学OB会
10月21日 天草九学会



比率になり、学院は無論のこと同窓会も大いに活気付いています。8月29日市民会館シアーズホーム夢ホールにて九州学院チアダンス部ミリアムズの創部25周年記念発表会が行われました。



顔と元氣溢れるステージの熱演と観客の歓声や拍手で会場は終始熱気に包まれ大盛況となりました。九学チアダンス部のさらなる躍動が期待されます。

ミラノで同窓生と運命の遭遇 ~敬天愛人の教えをいつも胸に~

西村麻希(S53回卒・旧姓松本)



イタリアのミラノに住んで早や11年になります。現在、こちらで子ども達に日本語や英語を教えています。仕事先の一つに、日本国籍を持つ子どもたちに日本語を教える国語補習教室というものがあります。なんと、その生徒さんのおじい様が、私の父と九州学院時代の同級生だということが判ったのです。そして、その方がミラノに遊びにいらしてお孫さんを学校にお迎えに来られた際に、ご挨拶をさせて頂くことができました。また、日本に帰られた後私の実家を訪問してください。父と再会をし、話が弾んだとのことでした。この偶然にびっくりしたと同時に、遠く離れた熊本をととても近く感じました。



活躍の分野の違う九学の先輩後輩が仲良く協力して世の中の注目を集める出来事は実に誇らしいことです。

祭九学会・OGも活躍! 4年ぶりの飾り馬に250人 熊本に秋の訪れを告げる市民のお祭り、藤崎八幡宮秋季例大祭が9月17日に行われ、高校OB連合会に属する「祭九学会」も4年ぶりに参加しました。



九州学院OB(S57回卒・ハンドボール部)というご縁で村上選手から登場曲を依頼されたものです。

「虹を追いかけろ」で歌詞には「憧れの舞台目指して昼夜問わず腕を磨いている」「失敗しても終わりにしない」「光溢れた空の下で未来が待つ」という言葉が綴られています。



北朝鮮拉致被害者 松木薫氏(S24回)の救出を 松木氏は1980年スペイン留学中に拉致され、現在も北朝鮮に抑留。弟の松木信宏氏(S43回)が拉致被害者家族会で活動中。



九州写真師大会で 文部科学大臣賞 三郎写真館店主の正木誠一氏(S36回卒)が九州沖繩在住のプロアマ参加の写真コンテスト「第124回九州写真師大会(九州写真師大会連盟主催)で、グランプリの文部科学大臣賞を受賞しました。

九学CDP(キャリア・ディベロップメント・プログラム)など多彩な企画

学校内外で生徒が積極的に活動を展開

① 熊本銀行「シヨブシャドウ」

8月2日(水)、熊本銀行本店においてシヨブシャドウを実施いたしました。このシヨブシャドウは公益財団法人ジュニア・アチーブメント日本が企画する、社員1人に生徒1人が影のように...



熊本中央高校の生徒とともに参加しました。一般的なインターンシップとは異なり、「人がしている仕事を見るのではなく、仕事をしている人を見る」一研修プログラムとなつてい...

② 第9回 徳島サマーキャンプ

8月4日(金)〜8日(火) 徳島県上勝町において徳島県青年海外協力協会(青年海外協力隊OB・OGの会)が主催する、第9回徳島サマー...



このサマーキャンプは熊本、福島の各県内の高校生を招いて継続実施されるもので、徳島県内の高校生とともに海外での生活や国際協力支援のお話を伺いながら、参加者どうし...

「国連欧州本部(スイス・ジュネーブ)を訪問して」

第26代高校生平和大使熊本県代表 鳥村理彩(2年)

今回の派遣では、スイスでの世界YWCAや国連軍縮局への訪問、国連軍縮会議の傍聴、オランダにてアンネ・フランクの家の見学などを行いました。各国の外交官の方々と...



国連軍縮部ジュネーブ事務所長レジンバルさんと

意見交換する場であったり、知識として蓄えていたものを実際に目で見て感じる機会であつたり、私にとつて貴重な経験と出会い、そして刺激に溢れた派遣だつたと思います。

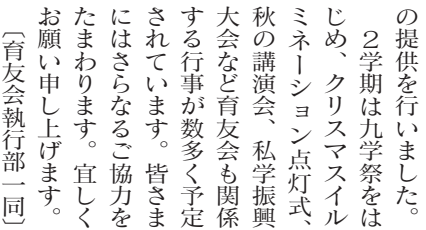
今回の、様々な視点や立場にいるたくさんの方々と交流させていただきましたが、私たちにまだまだ知らなかつたことが多くあり、国連軍縮部ジュネーブ事務所長のレジンバルさんは、「1つの視点からだけでは、様々な視点から学ぶことが大切だ」とおっしゃっていました。

九州学院育友会だより

6月より今年度執行部およびクラス役員さん有志も加えた新体制で、月曜日の朝にあいさつ運動を行つてい...



7月14日(金)に高校1年、8月25日(金)に高校2年、9月15日(金)に中学校(合同)の学年懇親会が開催され、多くの出席者で盛会でした。



9月9日(土)の体育祭では育友会から全生徒にミネラルウォーターの提供を行いました。

2学期は九学祭をはじめ、クリスマスイルミネーション点灯式、秋の講演会、私学振興大会など育友会も関係する行事が数多く予定されています。皆さまにはさらなるご協力を...

2024年度入試情報(高等学校)

- 奨学生(A・B・C)【入試日:2024年1月23日(火)】
【試験教科】国語・社会・数学・理科・英語(リスニング含む)
【特典】奨学生A...入学時納入金100,000円を免除し、授業料・教育充実費・施設設備費を相殺支給する。...

2024年度入試情報(中学校)

- 奨学生(A・B・C)【入試日:2023年12月2日(土)】
【試験教科】国語・算数(各100点)、社会・理科(各50点)
【特典】奨学生A...入学時納入金100,000円を免除し、授業料・教育充実費・施設設備費を相殺支給する。...

第10回 ブラウン・メモリアルコンサート

6月11日(日)14時から本校3号館3階多目的ホールで開催しました「第10回 ブラウン・メモリアルコンサート」九州学院高校吹奏楽部定期演奏会に、多くの皆さまにご来場いただきまして、誠にありがとうございました。

本年度は、実に4年ぶりに全くの入場制限なしで実施し、230人を超える方々にご来...



中高・生徒会役員が決定!

9月25日(月)午後、高等学校および中学校の生徒会役員選挙の候補者による立会演説会が各選挙管理委員会主催で開催されました。

高等学校新役員

- 会長: 山本 直輝(2年)
副会長: 高村 理彩(2年)
書記: 大野 幸音(2年)
書記: 桑原 宗大(1年)
会計: 大前 秀虎(2年)
会計: 島津 陽奈(1年)

中学校新役員

- 会長: 神田 咲人(2年)
副会長: 東 優姫愛(2年)
書記: 木村 果楠(2年)
書記: 鶴田 蒼空(2年)
書記: 河端 聡志(1年)
書記: 江村 明音(1年)

(中学校)学友会活動成績

- 空手道部: 熊本市中学校総合体育大会(6月18日)
文徳高校・中学体育館
男子団体組手 3位
女子団体組手 2位

九中コーナー

6月6日(火)〜9日(金)の4日間で教育キャンプを実施しました。この教育キャンプは、コロナ禍前は全学年に

教育キャンプを実施 雨にも負けず笑顔で活動!



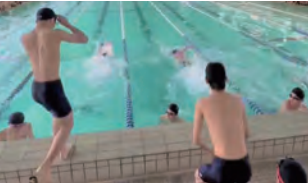
昨年キャンプが再開してから今回が2回目ということもあり、2・3年生は前回の経験から、かまじでの料理をテキパキとこなす余裕を見せ、楽しんでいる様子でした。

水泳大会を実施 久々の全校開催で大盛り上がり

7月14日(金)、九州学院屋内プールにおいて水泳大会を実施しました。昨年は学年ごとの開催でしたので、実に4年ぶりに全学年が一斉にそろっての水泳大会開催となりました。

九中生大活躍

3年生の宮本大雅亜くん 所属するソレツ熊本で全国準優勝!
第38回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)は8月24日(木)北海道帯広市の帯広の森陸上で決勝があり、ソレツ熊本はFC多摩に2-1で敗れたものの、見事準優勝を果たしました。



オープンスクール大盛況!

7月22日(土)、小学校5・6年生を対象としたオープンスクールを実施しました。昨年度同様、午前の部と午後の部それぞれ80組の参加を受け付けました。

参加者はまず初めに各教室で礼拝に臨み、キリスト教を教育の基礎とし、知育・徳育・体育の上に霊育を施す本校の教育を実体験する機会を持ちました。

- 柔道部: 熊本市中学校総合体育大会(7月22・23日)
山鹿市総合体育館
男子団体 1位
女子団体 2位
剣道部: 第20回熊本市中学生剣道優勝大会(6月11日)
人吉スポーツパレス
団体部 2位
弓道部: 第50回熊本市中学生弓道大会(6月11日)
熊本市植木弓道場
男子個人 2位
女子個人 2位
水泳部: 第55回西日本年齢別選手権水泳大会(5月20・21日)
アクアアドームくまもと
男子(13歳以下) 5位
女子(13歳以下) 5位

